



CNHR Newsletter

CENTER FOR NATURAL HAZARDS RESEARCH, HOKKAIDO UNIVERSITY

北海道大学 広域複合災害研究センター Vol.10 October 2022 – March 2023

2023年度の組織体制

- 2023年4月1日付の人事異動をお知らせします。
- ▶ 兼務教員(退任) 鮫島良次特任教授(農学研究院)
- ▶ 兼務教員(退任) 戸谷剛教授(工学研究院)

退任のあいさつ

鮫島良次特任教授

2023年3月末をもって、農学研究院・生物環境工学分野を退職しました。CNHRでは多くのことを勉強させていただきました。ありがとうございました。CNHRの益々のご発展をお祈りしております。

活動報告

北海道大学定例記者会見

2022年10月20日に開催された第6回北海道大学定例記者会見に、山田孝センター長と岡田成幸北大名誉教授/センター客員教授が出席しました。会見では、「海溝型地震の被害想定減災～北海道で巨大地震が起こったら～」と題した発表を行い、日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震に対する被害想定概要やその意義について説明するとともに、11月2日に釧路で開催予定のCNHR等主催シンポジウム(終了; ニュースレターVol.9で詳報)の紹介を行いました。会見での発表内容はメディアでも報道されました。



発表を行う山田センター長



定例記者会見の様子

大学院共通科目「突発災害危機管理論」開講(終了)

CNHR所属教員と外部講師によるオムニバス形式で大学院共通科目「突発災害危機管理論」を開講しました(2022年10月6日～2023年1月19日)。コロナ禍ということもあり、一部オンライン講義を活用しながら全15回の講義を実施しました。

活動報告

令和4年度活動報告書刊行

令和4年度のCNHRの活動を取りまとめた活動報告書を3月31日に刊行しました。報告書はCNHRの以下のwebサイトで閲覧できます。

<https://www.cnhr.info/annual-report>

大学院共通科目「国土保全学総論」開講

CNHR所属教員と非常勤講師によるオムニバス形式で大学院共通科目「国土保全学総論」を全15回(4月13日～8月3日、毎週木曜日)にわたって開講します。我が国の国土の成り立ちを踏まえ、国土保全と地域保全の重要性と必要性を講義し、実例に即して課題から解決策を導く過程を通して実践力のある人材の育成を図ります。講義の聴講を希望される方は事務局までご相談ください。

STV防災ノート監修

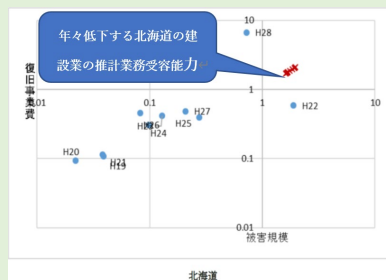
札幌テレビ放送(STV)が制作し、4月20日に発行された道内の小学生向け防災ノート「ポケットどさんこくん」の監修をCNHRが行いました。子どもたちの防災知識習得の手助けとなると同時に、保護者の方と防災について会話してもらうきっかけとなるものです。

研究者紹介

山口 真司(やまぐちしんじ)

広域複合災害研究センター 特任教授

広域複合災害研究センターの活動も5年目になり、これまでの研究成果を踏まえ、喫緊の課題である日本海溝・千島海溝型地震への対応を中心とした来年度から5年間の研究活動フレームについての検討を進めています。また、全国に比べ高齢化・少子化が著しい災害復旧・復興に欠かすことのできない建設業の災害時における維持や活動方策についての研究を行っています(右図)。



北海道大学 広域複合災害研究センター

〒060-8589 北海道札幌市北区北9条西9丁目
 Tel: 011-706-3882 Fax: 011-706-4695
 Email: cnhr-unei@cen.agr.hokudai.c.jp
 ホームページ: <https://www.cnhr.info/>

メンバー活動報告

名前	所属・役職	専門	最近の活動内容(研究課題など)
山田 孝	センター長 農学研究院・教授	砂防学	広域複合災害減災手法(特に、異種ハザードの重なる区域での災害シナリオと減災手法)、土砂・流木災害減災手法、土砂災害自衛工法、火砕流被害想定手法
井上 京	農学研究院・教授	農業土木学	低平地, 特に泥炭地における地盤沈下に関する研究
佐々木貴信	農学研究院・教授	木材工学	災害発生時の倒れ木等の利活用に関する研究
笠井美青	農学研究院・准教授	砂防学	山地流域における災害後の地形変化の把握と予測
厚井高志	副センター長 CNHR・准教授	砂防学	火山噴火または地震に伴う大規模土砂生産イベント後の土砂・流木動態に関する研究
桂 真也	農学研究院・助教	砂防学	山地小流域における水文過程および崩壊・地すべり発生予測に関する研究
泉 典洋	工学研究院・教授	河川工学	洪水時における河床変動とそれによる河床粗度の変化や河岸侵食・河道変動のメカニズム
萩原 亨	工学研究院・教授	交通工学	道路における暴風雪災害を防ぐため、CCTVカメラで補足できない区間や路線の視界を車載カメラから評価する技術を開発している。道路管理および他車への情報提供することを目的としている。
永田晴紀	工学研究院・教授	宇宙推進工学	小型深宇宙探査機用ハイブリッドキックモータの開発(本年度中にプロフライトモデルの完成を目指しています)
江丸貴紀	工学研究院・准教授	ロボット工学・ 制御工学	・大規模フィールドの管理を目的とした非均一なUGV・UAV群によるロボスタSLAM ・港湾の維持管理を目的としたGNSSトラッカーの開発
山田朋人	工学研究院・教授	水文学	・気候変動予測手法の開発と洪水リスク評価に関する研究 ・地球水循環システムと極端現象の解明に関する研究
田中 岳	工学研究院・助教	水文学	降雨流出系の確率応答解析に立脚した洪水予測システムの合理的な構築方法に関する研究
安成哲平	北極域研究センター・准教授	大気環境科学・雪氷学	北極域及び周辺域における森林火災及びその大気汚染発生の要因分析と予測に関する研究。また、これらの健康・気候・経済的影響についての分野横断的研究。
石川達也	工学研究院・教授	地盤工学	気候変動に伴う積雪寒冷地の斜面災害形態変化の体系化とそのリスク評価に関する研究
渡部要一	工学研究院・教授	地盤工学	火山灰質土により造成された盛土地盤の液状化特性
橋本雄一	文学研究院・教授	人文地理学	地理空間情報を用いた積雪寒冷地の災害時避難に関する研究
青山 裕	理学研究院・教授	火山学	北海道の活動的火山における火山現象の力学的観測研究
谷岡勇市郎	理学研究院・教授	地震学・ 津波学	広域津波災害軽減に向けて、近年設置された海底地震津波観測網(S-net)を用いた津波即時予測手法の開発研究を実施し、国際誌EPSIに投稿する。
稲津 将	理学研究院・教授	気象学	数値計算・データ解析による気象力学および応用気象学の研究
高橋幸弘	理学研究院・教授	リモートセンシング・ 雷観測	超小型衛星を用いた大規模災害の即時的な観測、およびそれを実現する国際連携の構築
山口真司	CNHR・特任教授	地域防災・マネジメント学	複合災害発生時の災害対応の実際及び災害対応従事者の人材育成に関する研究
丸谷知己	名誉教授(北海道立 総合研究機構・理事)	砂防学	—
小山内信智	客員教授(政策研究 大学院大学・教授)	砂防学	—
奥野信宏	客員教授(名古屋 都市センター長)	公共経済学	—
今日出人	客員教授(株式会社ドーコン)	地域防災学	—
岡田成幸	客員教授((一財)砂防・地すべり技 術センター, アジア航測株式会社)	地震防災計画 学(建築系)	—
佐野寿聡	研究員(アジア航測株式会社)	—	—
伊藤 剛	研究員(読売新聞北海道支社)	—	—
村上泰啓	研究員(北海道開発局)	—	—
原田和子	事務	—	—